

家庭学習の手引き

おうちの方へ

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにとても大切なものです。小学生のうちに机に向かう習慣を付けておくことが、のちに大きな力となります。学校と家庭とで連携し、望ましい学習習慣を身に付けていきましょう。



- (1) 1・2年生の学習の特徴
 - 読み、書き、計算の基礎的・基本的な内容を学習します。繰り返し練習することで力が付く学習内容がたくさんあります。
 - 生活と結び付いた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。
 - 「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「明日の持ち物の準備をする」「身の回りの整理整頓をする」などの習慣が、学習の基本となります。
- (2) 低学年のときは、おうちの方の支援が学習の習慣付けや意欲付けに大きく影響します。中学年、高学年と、学年が上がるにつれて自分で学習することができるように、少しずつ手を離していったほうがいいと思います。ただ、手を離しても目を離さずに、お子様のがんばりに対する励ましの声かけをお願いします。
- (3) 塾や習い事、スポーツ等、お子様もいろいろと予定があると思いますが、短い時間でも必ず机に向かう習慣を付けることができるとよいと思います。学習する時間を家庭でよく話し合って、無理のないように設定してください。
- (4) 学習するための環境づくりを意識しましょう。例えば、テレビをつけながら勉強しては、学習内容が身に付きません。テレビやインターネット、ゲーム、携帯電話などのルールを家庭で決めることと合わせて、お子様が落ち着いた環境で学習できるように工夫したり、話し合ったりしましょう。
- (5) お子様の学習の様子について、何か気になることがありましたら、担任までお知らせください。

※ 右の内容につきましては、お子様にも配付しています。
家庭学習の際の参考にしてください。

めあて

- いえにかえったら すぐに しゅくだいをしましょう。
- まいにち 20ふんいじょう（1ねんせい）、30分いじょう（2年生）がんばって がくしゅうしましょう。（とけいを みてから はじめると いいですね。）
- テレビを みないで やりましょう。

～ こんなやりかたで やってみよう ～

がくしゅう	や り か た
① もじのれんしゅう (ひらがな、カタカナ、かんじ) 	・おてほんの じの かたちを よくみて、ていねいに、こく かきます。 ・「とめる」「はねる」「はらう」にきをつけて かきましよう。 ・2年生はドリル1ページぶん、正しくかくように、がんばってみましよう。
② おんどく 	・こえにだして、ただしく はっきりとよみます。 ・「、」や「。」に きをつけて、すらすらよめるように しましよう。
③ けいさんれんしゅう 	・プリントや けいさんドリルをします。 ・おわったら、まちがえていないか、みなおしをしましよう。しゅくだいのほかに、じぶんで もんだいをつくってもいいでしよう。
④ さらに ちょうせん	・おうちの ひとが よういしてくれたドリルや プリントを やってみるのもいいですね。 ・どくしょ、けんぱんハーモニカのれんしゅう、なわとび、ずかんなどをつかった しらべがくしゅう、おてつだいなども しましよう。

かてい学しゅうのあとに・・・

- ◎ かていがくしゅうカードを かきましたか。
- ◎ じかんわりを たしかめて、あしたの じゅんびを しましたか。
- ◎ えんぴつを けずりましたか。
- ◎ つくえの うえを かたづけましたか。